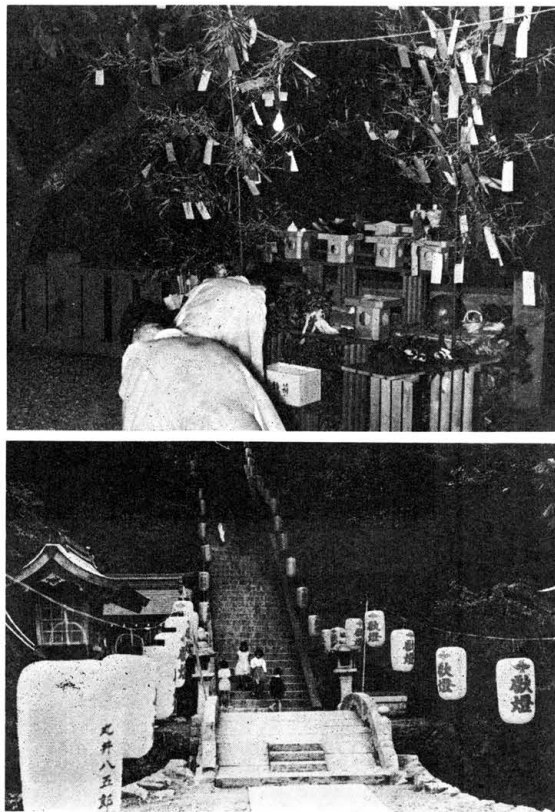




毎月十五日発行 宗像大社 宗像大社 宗像大社

神具、装束、結婚式場用品、本社、電話京都(075)331-1100

夏の夜を楽しむ 中津宮七夕祭盛大に斎行



中津宮七夕祭の様子、左が中津宮、右が本宮

恒例の中津宮七夕祭は去る八月廿七日午後七時三十分斎行、村民総出で祭の夜を楽しんだ。

去る八月十八日、十九日の両日、神社雅楽部(会長、吉富大蔵)主催により浦安舞踏協会が福岡県神社庁に於て行われた。

八月二十三日、二十四日は同く雅楽部主催により、雅楽研修会が太宰府市太宰府一ツ橋二丁目で開催された。

九月一日、三日、秋祭、一日、三日、秋祭、一日、三日、秋祭

阿蒙少言、この頃の世相、金・金物、物・権利・権利の渦巻きの中で、時折は奥山の温泉に静かに古い時代を回想する。サムライ日本は、封建的強権の専横の時代と左翼張りの非難があつても、人間らしい切実な美しさもあつた。

論説 平和塔と遺骨箱

第二次世界大戦に敗北したわが国は、各地に平和の塔を建設した。広島長崎の原爆被災地は、多数の非戦闘員の犠牲者を出し、惨状深刻を極めた。これら出現した平和塔が戦争を呪い平和を願う至情を凝らした。全国どこでも平和塔が見られるに至つたのである。

南次の遺骨に骨が残つては、どこにも埋められなかつた。今の大戦後には、各地に平和の塔を建設した。広島長崎の原爆被災地は、多数の非戦闘員の犠牲者を出し、惨状深刻を極めた。

この頃の世相、金・金物、物・権利・権利の渦巻きの中で、時折は奥山の温泉に静かに古い時代を回想する。サムライ日本は、封建的強権の専横の時代と左翼張りの非難があつても、人間らしい切実な美しさもあつた。

宗像 白木つゆめ、南島の静けさ、白木つゆめ、南島の静けさ、白木つゆめ、南島の静けさ

日本に限らず、洋の東西を問わず、民族の信仰を分ち、みな平和を求め、平和を求め、平和を求め、平和を求め

平和を求め、平和を求め、平和を求め、平和を求め、平和を求め、平和を求め

平和を求め、平和を求め、平和を求め、平和を求め、平和を求め、平和を求め

平和を求め、平和を求め、平和を求め、平和を求め、平和を求め、平和を求め

神楽、雅楽 研修会を行なう

去る八月十八日、十九日の両日、神社雅楽部(会長、吉富大蔵)主催により浦安舞踏協会が福岡県神社庁に於て行われた。

去る八月十八日、十九日の両日、神社雅楽部(会長、吉富大蔵)主催により浦安舞踏協会が福岡県神社庁に於て行われた。

祭典案内

- 九月一日、三日、秋祭、一日、三日、秋祭、一日、三日、秋祭

阿蒙少言

この頃の世相、金・金物、物・権利・権利の渦巻きの中で、時折は奥山の温泉に静かに古い時代を回想する。サムライ日本は、封建的強権の専横の時代と左翼張りの非難があつても、人間らしい切実な美しさもあつた。

宗像大社歌会詠草

- 宗像 八波 五月、宗像 吉田 直志、宗像 原田まつ代

宗像 白木つゆめ

南島の静けさ、白木つゆめ、南島の静けさ、白木つゆめ、南島の静けさ

宗像 立花 勇雄

明け初め、熱帯の海の静寂を漁舟一つが水脈をひく

宗像 仰木 龜代

仰ぐ目に目を暗くし、いらい櫻根あつたわなげがみしる

宗像 吉田ますみ

さわさわ吹く夕風、花萩は秋の籟と咲き舞い降り

宗像 吉田 信夫

決勝の終戦に敗色の手折るか胸手を震く





宗像大杜歌会 俳句作品集(二)

土 穴 八尋 恒夫 夏服の軽き装い若き

藤 沢 井上玄洋子 秋草は海辺の空に人をもし

宗 像 力丸 一郎 晩光人の心もなかり

福 間 廣渡 一寸毛 柄の葉の白いかくわし餅の味

田 島 吉武 武雄 新涼に軍馬鳴く遊法の夢

宗 像 吉田ますみ 夏木立陽をさきりて磔し

津屋崎 井浦 良介 伊予かすり織をわらわき髪車し

田 島 有吉 唐水 庭師来て裏の市田の近く見え

宗 像 岡田 無名 送迎の灯車で連々遠き墓



穂

西日本新聞社刊・滝口凡夫著

創造と可能への挑戦

一 出光佐三の事業理念

第七章 ペルシヤ湾の日章旗
われ俯仰天地に恥じず
独立後のわが国は、日本の石油資源の確保を第一と見做し、石油消費量の増進と石油資源の確保を並進して、石油消費量の増進と石油資源の確保を並進して、石油消費量の増進と石油資源の確保を並進して...

第八章 驚異の製油所
白紙に描く
徳山市の東寄り、国鉄山陽線と山陽本線の間に、延々と続々と製油所が建てられた。その製油所は、徳山市の東寄り、国鉄山陽線と山陽本線の間に、延々と続々と製油所が建てられた。その製油所は、徳山市の東寄り、国鉄山陽線と山陽本線の間に、延々と続々と製油所が建てられた...

第九章 出光佐三の事業理念
出光佐三の事業理念は、石油消費量の増進と石油資源の確保を並進して、石油消費量の増進と石油資源の確保を並進して、石油消費量の増進と石油資源の確保を並進して...

第十章 出光佐三の事業理念
出光佐三の事業理念は、石油消費量の増進と石油資源の確保を並進して、石油消費量の増進と石油資源の確保を並進して、石油消費量の増進と石油資源の確保を並進して...

第十一章 出光佐三の事業理念
出光佐三の事業理念は、石油消費量の増進と石油資源の確保を並進して、石油消費量の増進と石油資源の確保を並進して、石油消費量の増進と石油資源の確保を並進して...

第十二章 出光佐三の事業理念
出光佐三の事業理念は、石油消費量の増進と石油資源の確保を並進して、石油消費量の増進と石油資源の確保を並進して、石油消費量の増進と石油資源の確保を並進して...

第十三章 出光佐三の事業理念
出光佐三の事業理念は、石油消費量の増進と石油資源の確保を並進して、石油消費量の増進と石油資源の確保を並進して、石油消費量の増進と石油資源の確保を並進して...

第十四章 出光佐三の事業理念
出光佐三の事業理念は、石油消費量の増進と石油資源の確保を並進して、石油消費量の増進と石油資源の確保を並進して、石油消費量の増進と石油資源の確保を並進して...

第十五章 出光佐三の事業理念
出光佐三の事業理念は、石油消費量の増進と石油資源の確保を並進して、石油消費量の増進と石油資源の確保を並進して、石油消費量の増進と石油資源の確保を並進して...

第十六章 出光佐三の事業理念
出光佐三の事業理念は、石油消費量の増進と石油資源の確保を並進して、石油消費量の増進と石油資源の確保を並進して、石油消費量の増進と石油資源の確保を並進して...

市 (注) 第一海油製油所 川島製油所

川島製油所は、徳山市の東寄り、国鉄山陽線と山陽本線の間に、延々と続々と製油所が建てられた。その製油所は、徳山市の東寄り、国鉄山陽線と山陽本線の間に、延々と続々と製油所が建てられた...

徳山市の東寄り、国鉄山陽線と山陽本線の間に、延々と続々と製油所が建てられた。その製油所は、徳山市の東寄り、国鉄山陽線と山陽本線の間に、延々と続々と製油所が建てられた...

徳山市の東寄り、国鉄山陽線と山陽本線の間に、延々と続々と製油所が建てられた。その製油所は、徳山市の東寄り、国鉄山陽線と山陽本線の間に、延々と続々と製油所が建てられた...

徳山市の東寄り、国鉄山陽線と山陽本線の間に、延々と続々と製油所が建てられた。その製油所は、徳山市の東寄り、国鉄山陽線と山陽本線の間に、延々と続々と製油所が建てられた...

徳山市の東寄り、国鉄山陽線と山陽本線の間に、延々と続々と製油所が建てられた。その製油所は、徳山市の東寄り、国鉄山陽線と山陽本線の間に、延々と続々と製油所が建てられた...

徳山市の東寄り、国鉄山陽線と山陽本線の間に、延々と続々と製油所が建てられた。その製油所は、徳山市の東寄り、国鉄山陽線と山陽本線の間に、延々と続々と製油所が建てられた...

徳山市の東寄り、国鉄山陽線と山陽本線の間に、延々と続々と製油所が建てられた。その製油所は、徳山市の東寄り、国鉄山陽線と山陽本線の間に、延々と続々と製油所が建てられた...

徳山市の東寄り、国鉄山陽線と山陽本線の間に、延々と続々と製油所が建てられた。その製油所は、徳山市の東寄り、国鉄山陽線と山陽本線の間に、延々と続々と製油所が建てられた...

徳山市の東寄り、国鉄山陽線と山陽本線の間に、延々と続々と製油所が建てられた。その製油所は、徳山市の東寄り、国鉄山陽線と山陽本線の間に、延々と続々と製油所が建てられた...

徳山市の東寄り、国鉄山陽線と山陽本線の間に、延々と続々と製油所が建てられた。その製油所は、徳山市の東寄り、国鉄山陽線と山陽本線の間に、延々と続々と製油所が建てられた...

徳山市の東寄り、国鉄山陽線と山陽本線の間に、延々と続々と製油所が建てられた。その製油所は、徳山市の東寄り、国鉄山陽線と山陽本線の間に、延々と続々と製油所が建てられた...

徳山市の東寄り、国鉄山陽線と山陽本線の間に、延々と続々と製油所が建てられた。その製油所は、徳山市の東寄り、国鉄山陽線と山陽本線の間に、延々と続々と製油所が建てられた...

徳山市の東寄り、国鉄山陽線と山陽本線の間に、延々と続々と製油所が建てられた。その製油所は、徳山市の東寄り、国鉄山陽線と山陽本線の間に、延々と続々と製油所が建てられた...

徳山市の東寄り、国鉄山陽線と山陽本線の間に、延々と続々と製油所が建てられた。その製油所は、徳山市の東寄り、国鉄山陽線と山陽本線の間に、延々と続々と製油所が建てられた...

徳山市の東寄り、国鉄山陽線と山陽本線の間に、延々と続々と製油所が建てられた。その製油所は、徳山市の東寄り、国鉄山陽線と山陽本線の間に、延々と続々と製油所が建てられた...